



令和6年10月4日

報道機関 各位

## 中嶋八良さんが鴨川市へ「デジタルサイネージ」を寄贈

なかじまはちろう

この度、市内在住の中嶋八良さん(94歳)＝鴨川市横渚＝から、デジタルサイネージの寄贈がありました。これは、病気で亡くなった娘の中嶋ゆう子さんの遺産の一部を、ゆう子さんの遺志に従い鴨川市教育委員会へ教育財産として寄贈したものです。

娘のゆう子さんは千葉市内で歯科医院を開業していましたが、令和2年に病気で亡くなりました。ゆう子さんは生前、自分の資産を医学会の発展や公共の福祉のために寄附したいと父親の中嶋八良さんに話していたことから、その遺志を尊重し中嶋さんが故郷の鴨川市へデジタルサイネージを寄贈することとなりました。

中嶋さんからは、令和3年に文化振興のための資金(金額非公開)の寄附及び古文書等の資料を保存するための収蔵庫を寄贈いただいております、2回目の寄贈となります。

デジタルサイネージは、郷土資料館の市道からの出入りに設置し、来館者はもとより通行者からの目に留まるようにしました。デジタルサイネージは、LEDモニターで、モニターサイズは1m×1m。郷土資料館展覧会などの展示案内や文化イベントのポスター、文化財の紹介映像、菜畑ロードなどの観光案内に活用していく予定です。

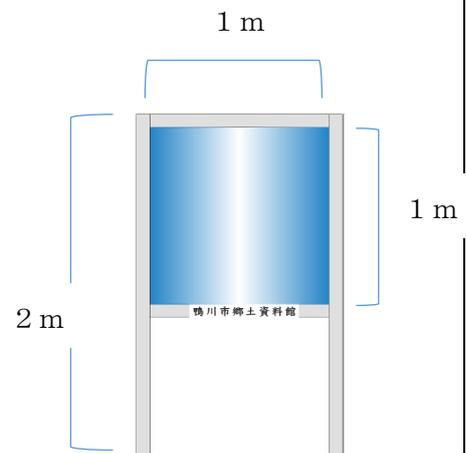
また、残部希少となっている町村誌「あゆみ」シリーズについても、印刷した冊子を寄贈いただく予定となっています。

長谷川孝夫市長は、「大変貴重なご寄贈をいただき、誠にありがとうございます。ゆう子さんの遺志をしっかりと受け止め、本市の文化振興に有効に活用させていただきます。」と感謝の言葉を述べました。

### 【参考】

#### ※デジタルサイネージの概要

- ・視認性が良いLEDモニターの防水仕様
- ・SIMカード利用によるLTE通信によりコンテンツ更新や設定などが可能
- ・モニターサイズ



※中嶋八良さんは、東京医科歯科大学（現東京科学大学）医学部助教授として法医学や免疫血液学の研究・教育に従事されました。平成12年からは鴨川市史編さん委員会の委員、平成29年からは市史編さん委員会の委員長を務め、長年にわたり市史編さん事業に携わってきました。これらの経験から郷土資料館の更なる情報発信に役立てて欲しいと、今回の申し出となりました。

### 【デジタルサイネージ贈呈式】

10月4日（金）午前10時から贈呈式



寄贈されたデジタルサイネージの前に  
左から中嶋八良氏、長谷川孝夫市長、鈴木希彦教育長

問い合わせ

生涯学習課 文化振興係 担当：畑中

TEL：04-7093-3800 FAX：04-7093-1101